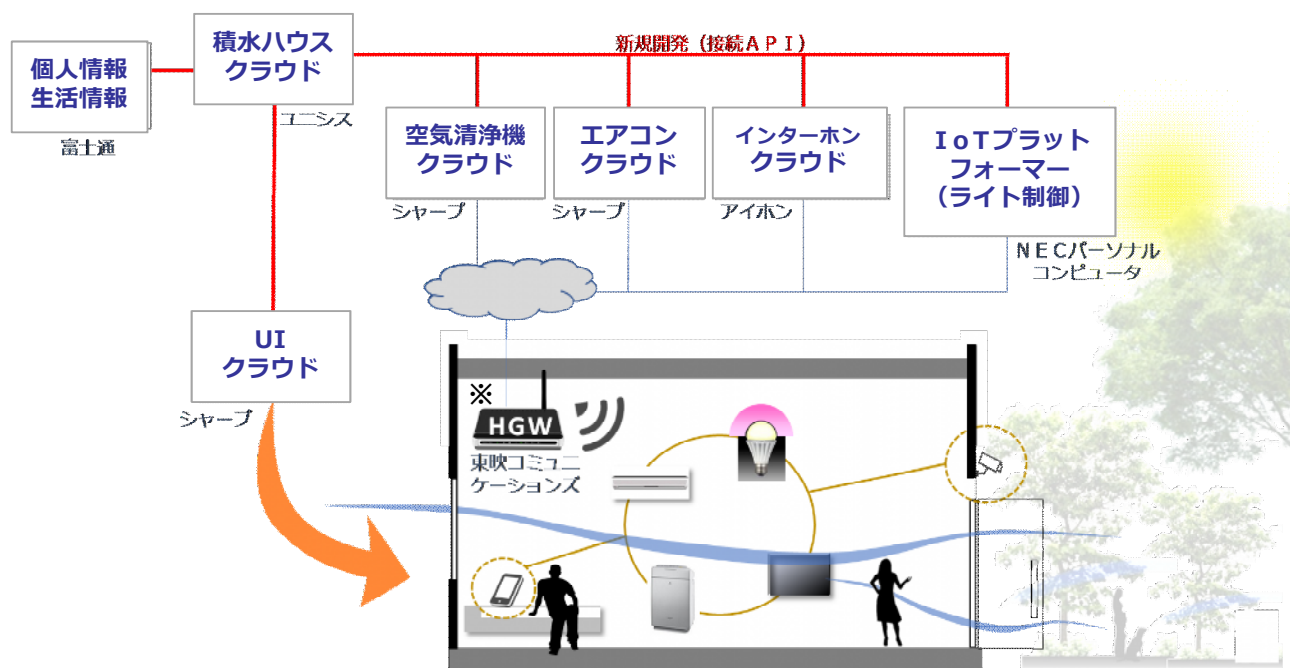


経済産業省採択事業 「スマートホームに関するデータ活用環境整備推進事業」 の実証実験を開始します

積水ハウスは、家庭内の機器のネットワーク化やそれによる新たなビジネス創出に必要な事業環境の整備を目的とする、経済産業省「平成28年度補正 IoTを活用した社会システム整備事業（スマートホームに関するデータ活用環境整備推進事業）」を経済産業省より受託をした、株式会社三菱総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：森崎 孝）から再委託を受け、協力企業（日本ユニシス株式会社、富士通株式会社、シャープ株式会社、アイホン株式会社、NECパーソナルコンピュータ株式会社、東映コミュニケーションズ株式会社など）とともに当実証事業に着手します。当実証事業においては、住まい手に対して新しい価値を提供するため、住宅内に設置された機器間の連携・接続ルールやセキュリティ・認証、製品安全、プライバシー等の課題に対し企業の枠を越えて取組みます。実証フィールドとして首都圏に建築される当社賃貸住宅（シャームゾン）を選定し、質の高いサービスを求める都市居住者に体験していただきます。

当社は本実証事業を通して積水ハウスの住宅にお住まいのお客様がこれらのサービスを利用し、より生活の質向上や省エネ、安全・安心、健康促進のために各住宅情報を活用していただけるような情報基盤づくりを推進し、これからのスマートハウスのあり方を研究してまいります。



実証事業イメージ図

※ (HGW : ホームゲートウェイ)

本実証では住まい手が安心してサービスを利用できるための情報セキュリティの検証に使用します。